

連載三回目の今回はベナリスを飛び出し、インド北東部のマニプール州での話です。

この話は僕が所属するデリーのサッカーチームにおいて、マニプール遠征を企画したことに端を発します。サッカーチームはデリーを中心に、日系企業に勤める駐在員そして僕のような留学生を中心に結成され、週末の憩いとして集まる、いわば草サッカーチーム、その名は「FCキッカーズ」です。僕たちは真剣にサッカーをします。それと同時にサッカーを口実に運動後の打ち上げ、または週末プチ旅行を楽しむのもまた事実でありました。

からの分離独立闘争のため治安が安定しておらず、それ故に入境制限が行われ、外国人観光客が簡単に観光をできる地域ではありませんでした。しかし、その入境制限も二〇一一年ようやく解除され、また歴史的にもマニプールの州都インパールは第二次世界大戦の際に「インパール作戦」の舞台にもなりました。

日本代表!? FCキッカーズ

普及しており、また州ごとにチームを作ってプロリーグが始まるなど、大きな盛り上がりを見せています。さてマニプール旅行の話は順調に進み、いよいよ二週間後の出発となった二月初旬、何やらマニプールの週末プチ旅行を全面的にサポートしてくれるとの

「インパール作戦」で戦死した戦没者慰霊や、サッカーを通じての小さな文化交流です。それが今ではマニプール州政府観光庁の「威信を懸けたプロジエクト」になっていると聞かされ、今まで感じたことない動揺と困惑が我々「FCキッカーズ」を包むこととなり立ち寄り試合をす

そして見出しの写真には、サッカー日本代表の選手が使われているではありませんか！さらに記事を読み進めると、「日本サッカーチームはドバイ遠征の中継地点としてマニプールの州都インパールに立ち寄り試合をす

る」との語になっています。しかしどうでしょう、いや、そこまできたら逆に何かの冗談にしか思えず、我々「FCキッカーズ」をきっと善良なマニプールの人々は僕らが来ようが関係なく休日を通すのだと思いつきます。観光庁広報課が情報発信をしているであろう記事に「マニプールの21代表、ついに日本サッカーチームとの試合が実現!! 海外チームとの対外試合は、一九七九年に行われたタイ代表戦以来のこと」。



インパール訪問は地元紙にも報道され...

(次号につづく)